

カモシカ通信



平成20年度 天竜川水系 伊ノ木沢砂防堰堤工事の施工状況



南信濃押出地区で土石流をとめる、主堰堤と副堰堤で構成される重力式と呼ばれているタイプの砂防堰堤を施工しています。

伊ノ木沢の現場は対岸の国道152号線(遠山中学校)のあたりより見ることができます。

この工事の特徴は周辺景観との調和を図る目的で残存型枠に「自然石」を張り付ける工法が採用され、現在、副堰堤に張り付け作業を行っています。

今年の夏頃までには主堰堤、副堰堤とも半分完成の予定です。

石材は残存型枠の穴に固定ボルトを通し、型枠の内側より固定します。



石材をこのようにして張り付けていきます



石材張り付け作業は外側から張り付ける人と、内側で固定する人との2名で作業を行います。



平成21年1月27日(火)
 天竜川上流工事安全協議会が開催され、遠山川砂防出張所の代表として本工事の安全対策を発表してきました。



現場周辺は地元の人達の散歩コースでもあり、掲示板を見ている姿がよくみかけられます。

池端工業株式会社

平成21年1月11日和田地区でどんど焼きが行われました。

子供達が、お父さんやお母さんと各家庭をまわり、正月飾りやだるまを集めてきて行いました。



燃え終わった炭を集め、家から持参した餅を焼いて食べました。私もご馳走になりました。炭で焼くとひと味違いますね、おいしかったです。



こちらの地区では、大人の人達が家庭から持ち寄り、竹にだるまを吊るしたりして準備した後、ねぎ様によるお祓いの神事を行いどんど焼きが行われました。





遠山川流域の土砂災害等に関する 地域防災を考える懇談会

飯田市の主催により、平成21年1月28日(水)に遠山川流域の地域防災を考える懇談会が開催され、国や県、市の関係者や地域の住民など約70人が出席し、地域の防災について意見を交わしました。

懇談会では、①遠山谷における災害体験談(地域住民の野牧氏)、②遠山川の砂防事業について(天竜川上流河川事務所)、③土砂災害防止法について(長野県飯田建設事務所)、④土砂災害警戒情報による避難について(飯田市)の説明後、出席者との意見交換が行われ、「より一層の防災対策の推進をお願いしたい」等の意見がありました。

天竜川上流河川事務所からは、遠山川流域の特性やこれまでに発生した土砂災害、今後発生すると予想される土砂災害などを説明し、これまでの災害を踏まえて”再度災害を防止する”という観点から、今後の整備を「当面の緊急整備目標(概ね10年)」と「当面の整備目標(概ね30年)」の2段階で行っていきたいことを説明しました。

下記に「当面の緊急整備目標(概ね10年)」の概要を紹介します。



天竜川上流河川事務所 伊藤所長挨拶

当面の緊急整備目標の概要

Q1. どんな災害を想定しているの？

伊那谷での戦後最大の出水と言われる、昭和57、58年と同程度の土砂流出が発生した場合に想定される土砂堆積や氾濫を防止できるようにします。

Q2. どんな対策をするの？

大きく2つの対策を考えています。

- ①土砂対策
遠山川本川からの土砂流出を止めるために、**砂防えん堤**を整備します。
- ②河床安定化対策
荒から小道木橋区間の河床低下を抑えるため、**床固め工群**を整備します。

Q3. 自然環境への配慮はどう考えているの？

渓流魚の移動を妨げない様な工夫や、埋設林の保全、周辺景観との調和などに配慮した施設設計を行います。

Q4. 今回の計画以外の防災対策はしてくれないの？

直接的に人命や財産等に被害を及ぼす土石流対策などは、各流域の様子を見ながら、今回の計画とは別に整備を進めていきます。

Q5. いつから工事するの？

今後の事業の進め方は、
平成21年度 予備設計
平成22年度 詳細設計
平成23年度～ 砂防指定地検討、用地取得
平成25年度～ 工事着手
という流れを考えています。
作業の進み具合は、今後の地域懇談会等で説明していきます。

上記の計画についてご意見、ご質問があれば、下記までご連絡ください。

遠山川砂防出張所 TEL:(0260)34-2376

